

安城市 在宅医療連携拠点推進事業

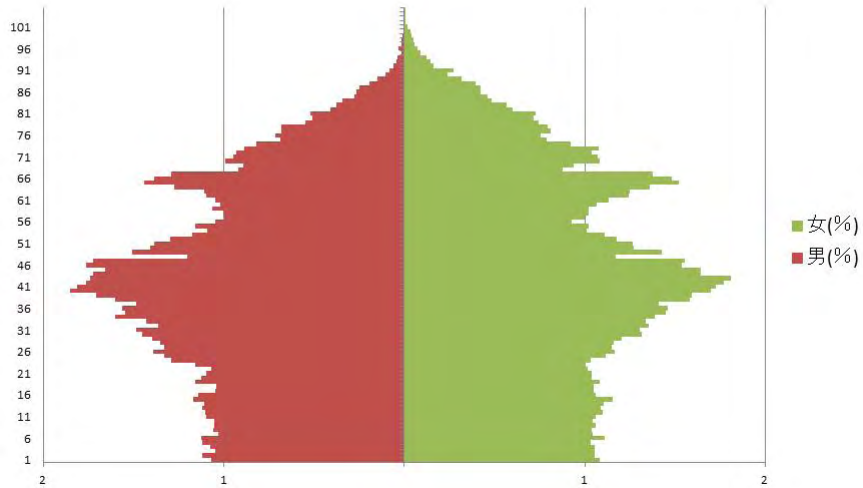
安城市

安城市の概要

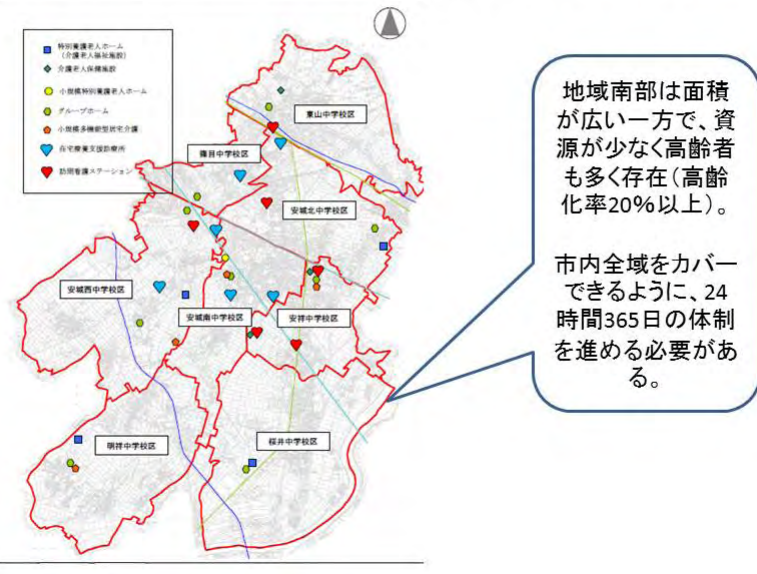
- 人口 183,552人 (H25.10.1現在)
- 高齢化率 65歳以上 18.1%
75歳以上 7.9%
- 人口増減率 前年比 + 0.65%
- 地域の特性
 - 一般病床数は比較的多い 52.43床 (人口1万人当たり)
 - 医師数は比較的多い 19.13人 (人口1万人当たり)
 - 産婦人科医数 4.79人 (15~49歳女性人口1万人当たり)
 - 小児科医数 7.72人 (小児人口1万人当たり)
 - 在宅死亡率は県平均より高い13.4% (平成23年データ)
 - 療養病床が少ない 5.67床 (人口1万人当たり)
 - 百貨店・スーパー数が多い 0.55店 (人口1万人当たり)
 - 介護保険料基準額が安い 4,150円 (月額)

安城市の人口ピラミッド

世代別人口 (H25.10.1現在)



地域の医療・介護資源マップ



地域の課題と解決策

1. 情報共有化の不足(患者情報・資源情報)
⇒在宅療養手帳、医療・福祉資源マップの作成
2. かかりつけ医の問題(往診・緊急時)
⇒医療介護連携相談窓口の設置
3. 知識・技術不足(医療知識・リーダーシップ)
⇒専門職連携教育(IPE)・専門職協働(IPW)の推進、基幹病院による研修支援、
4. 重度介護・認知症の問題
⇒レスパイト入院・入所の確保、認知症ケアパスの作成
5. 市民への普及啓発の問題
⇒アンケート・フォーラム実施、全世代対象の広報活動

活動ロードマップ

平成25-26年度 在宅医療連携推進事業スケジュール表		スケジュール															
		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	多職種連携の推進と情報共有の確保				【第1回】	【第2回】						【第3回】	【第4回】				【第5回】
1-1	在宅医療連携推進協議会	立ち上げ・事務局選定	協議内容確定									協議内容確定	協議内容確定				協議内容確定
2	多職種ネットワーク				【第1回】	【第2回】	【第3回】	【第4回】	【第5回】	【第6回】	【第7回】	【第8回】	【第9回】	【第10回】	【第11回】	【第12回】	【第13回】
2-1	在宅医療連携に関するアンケート調査				調査実施	調査実施	調査実施	調査実施	調査実施	調査実施	調査実施	調査実施	調査実施	調査実施	調査実施	調査実施	調査実施
2-2	【第1回】在宅医療連携推進協議会第1回定例会																
2-3	【第2回】在宅医療連携推進協議会第2回定例会																
2-4	【第3回】在宅医療連携推進協議会第3回定例会																
2-5	【第4回】在宅医療連携推進協議会第4回定例会																
2-6	【第5回】在宅医療連携推進協議会第5回定例会																
2-7	【第6回】在宅医療連携推進協議会第6回定例会																
2-8	【第7回】在宅医療連携推進協議会第7回定例会																
2-9	【第8回】在宅医療連携推進協議会第8回定例会																
2-10	【第9回】在宅医療連携推進協議会第9回定例会																
2-11	【第10回】在宅医療連携推進協議会第10回定例会																
2-12	【第11回】在宅医療連携推進協議会第11回定例会																
2-13	【第12回】在宅医療連携推進協議会第12回定例会																
2-14	【第13回】在宅医療連携推進協議会第13回定例会																
2-15	【第14回】在宅医療連携推進協議会第14回定例会																
2-16	【第15回】在宅医療連携推進協議会第15回定例会																
2-17	【第16回】在宅医療連携推進協議会第16回定例会																
2-18	【第17回】在宅医療連携推進協議会第17回定例会																
2-19	【第18回】在宅医療連携推進協議会第18回定例会																
2-20	【第19回】在宅医療連携推進協議会第19回定例会																
2-21	【第20回】在宅医療連携推進協議会第20回定例会																
2-22	【第21回】在宅医療連携推進協議会第21回定例会																
2-23	【第22回】在宅医療連携推進協議会第22回定例会																
2-24	【第23回】在宅医療連携推進協議会第23回定例会																
2-25	【第24回】在宅医療連携推進協議会第24回定例会																
2-26	【第25回】在宅医療連携推進協議会第25回定例会																
2-27	【第26回】在宅医療連携推進協議会第26回定例会																
2-28	【第27回】在宅医療連携推進協議会第27回定例会																
2-29	【第28回】在宅医療連携推進協議会第28回定例会																
2-30	【第29回】在宅医療連携推進協議会第29回定例会																
2-31	【第30回】在宅医療連携推進協議会第30回定例会																
3	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-1	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-2	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-3	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-4	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-5	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-6	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-7	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-8	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-9	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-10	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-11	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-12	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-13	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-14	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-15	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-16	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-17	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-18	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-19	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-20	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-21	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-22	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-23	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-24	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-25	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-26	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-27	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-28	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-29	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-30	在宅医療連携に関するアンケート調査																
3-31	在宅医療連携に関するアンケート調査																

平成25年度の活動評価

H26.2.25 講演会 開催

「地域包括ケアと今後の医療・介護のかたち」

名古屋大学大学院 准教授 鈴木裕介先生

H26.3.7 五者(市・包括・医師会・更生病院・八千代病院)協議 開催

H26.3.19 在宅医療連携推進協議会 開催

H26.3.30 多職種ネットワーク会議 開催

「在宅医療と介護の連携を推進するために必要な課題と対応策」

グループワーク発表形式(KJ法+二次元展開法にて)

評価:講演会1回、各種会議計3回の開催、アンケート1回実施。

⇒その他の具体的活動は26年度以降に順次実施予定。

平成26年度取り組み①

1-1. 在宅療養手帳の作成と活用

⇒多職種会議を6回以上開催し、作成。

市内8中学校区のうち、4地区以上でモデル的に導入。

1-2. 医療・福祉資源マップの作成

⇒医療福祉資源の一元化とITシステムの構築。

2. 医療介護連携相談窓口の設置を検討

⇒多職種会議の中でシステム構築の土台を作成。

3-1. 専門職連携教育(IPE)・専門職協働(IPW)の推進

⇒医療介護で協働できる人材育成の研修を開催。

3-2. 基幹病院による研修支援

⇒シミュレーション研修・実地研修を開催。

平成26年度の取組み②

4-1. レスパイト入院・入所の確保

⇒市民、ケアマネ、医療機関への実態調査の実施。

4-2. 認知症ケアパス作成

⇒ケアパスの作成に向けて関係者協議を開催。

5-1. 市民フォーラムの実施

⇒フォーラムを2回開催。

5-2. 全世代対象の広報活動

⇒小学校での福祉教育を1回/年。

企業での社員向け講演会1回/年。

町内会・老人会向けの講演会1回/年。

まとめ

= 地域の未来

= 事業終了時などの将来ビジョン

1. 多職種連携の課題の抽出と解決策の検討

【現状】

多職種ネットワーク会議の開催により、多職種が一堂に会する場ができつつある。

【事業開始15ヶ月後】

多職種ネットワーク会議でそれぞれの職種からの課題など問題意識が共有されつつある。
在宅療養手帳の作成ができ、活用され始めている。

【2025年頃】

多職種の壁は徐々に取り払われ、在宅療養手帳を活用した患者情報の共有ができている。
多職種は福祉資源マップを活用して必要な資源情報を入手できる。



この一冊で大丈夫！
将来はIT化かな？

2. 在宅医療従事者の負担軽減の支援

【現状】

病診連携・診診連携は充分でなく、24時間対応の在宅医療を提供するためのサポート体制が出来ていない。

【事業開始15ヶ月後】

地域資源の充足状況が明らかになっている。
地域包括ケア病棟の活用により、在宅主治医のバックアップ体制ができつつある。

【2025年頃】

往診・訪問診療を行う医療関係者が増加している。
24時間定期巡回・随時型の訪問介護・看護が稼働している。



自宅で安心して医療が受けられるよ。